筑波経済月報

No.122
2023.9

企業探訪
三位一体の歓喜・感動『夢実現・感動共有カンパニー』
とんきゅう株式会社

支店長のわがまち紹介
町民一丸となって住みたくなるまちを創る
利根町

常陸時代の佐竹氏 －500年の軌跡を追う－（第4回）
源義業嫡男・昌義、佐竹郷に土着

研究員レポート
茨城県における企業立地の動向 ～経済産業省「工場立地動向調査」を中心とした分析～

経営お役立ち情報
設備投資に有効な「リース」の活用について

筑波総研 株式会社

利根親水公園の古代ハス

古代ハス

ぞうさんスプリンクラー

体験乗馬の様子

（写真提供／利根町）

利根町は町の南側に日本一の流域面積を誇る利根川が流れる水辺のまちです。町内全域に田園風景が広がり、四季折々の美しい風景が町を彩ります。

利根親水公園は2001年に人々の交流の場、憩いの場所として設置されました。1.6haある園内では、カキツバタやヒメスイレンなどの水生植物をはじめ、桜やアジサイなど季節ごとの花が楽しめます。特に毎年7月上旬から8月下旬にかけては池一面に大輪の古代ハスが広がり、写真を撮るために遠方から訪れる方も多く、町屈指の観光スポットとなっています。

園内に咲く古代ハスは、1998年に水田に浮かんでいたハスの葉を発見した住民が家に持ち帰り、株を増やすことに成功、2001年の親水公園の開園に合わせて園内の池に移植されました。このハスは、区画整理事業の際に地中深くから掘り起こされたタネから発芽したと考えられ、調査の結果、日本花蓮協会から「自然発芽苗」の独自品種（古代ハス）としての認定を受け「利根蓮」と命名されています。

2021年からは、利根親水公園を会場にしたイベント「TONE LOTUS FES. ―蓮祭―」が毎年7月上旬に開催されています。

会場の入り口に設置される高さ3mのぞうさんスプリンクラーは、子ども達の水遊びスポットとして毎年大人気です。町内の乗馬クラブによる体験乗馬や、町内を周遊する三輪自動車トゥクトゥクの体験乗車も好評で、町内外からの多くの来場者で賑わいます。夕方の時間帯には広い空が夕焼けで染まり、美しいグラデーションが広がります。夜には木道や東屋をライトアップして、ホタル観賞会も開催するなど、一日を通して町の自然を体感しながら楽しめるイベントとなっています。

皆さんもぜひ、自然豊かな利根町へお出かけください。

≪Information≫

◆ 所在地
茨城県北相馬郡利根町中谷1628

◆ アクセス
JR常磐線取手駅より立崎行きバス
「立木新田」下車徒歩5分

◆ 駐車場
有り　普通車7台

◆ お問い合わせ
利根町まち未来創造課
電話　0297-68-2211